

# 西光寺だより

第八十六号 平成二九年 十月一日発行

今年も茨木東組念仏奉仕団募集の時期になりました。この念仏奉仕団、今年で二十九回目を迎えます。浄土真宗本願寺派本山である京都の西本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、宗祖親鸞聖人のみ教えを肌で感じ、仏恩報謝の生活に生かされる浄土真宗の門徒としての生き方を改めて振りかえる場として、茨木東にある十八カ寺のお寺とその門信徒の皆さんとで構成されている茨木東組の恒例行事です。

そして今年の念仏奉仕団は、**お煤払い**であります。

お煤払いは、一年間にたまった阿弥陀堂と御影堂の数百畳の堂内のほこりを僧侶・門信徒の方々総出で行う大掃除であります。室町時代、蓮如上人の時代から始まったといわれる迎春行事であります。**鯨魚**（「げぎょ」といい、十二月二〇日のお煤払いの時のみ、御門主が履く草履。巻藁で作られ、もとの魚のひれのような緒がついていたので鯨魚の名がある。）と呼ばれる大きな草履をはいた本願寺住職（ご門主）が、阿弥陀堂の宮殿、御影堂の厨子を長いお煤ほうきで左右に払い、作業がはじまります。古式に習い、堂内では門信徒の方々が横一列に並び、すす竹で畳をたたきながら進み、大きなうちわを使ってほこりを払う圧巻の光景が有名であります。

今年**は十二月十九日（火）～二十日（水）**の一泊二日で行われます。宿泊先は西本願寺隣にある京都東急ホテルです。

くわしい日程などは申込用紙に記載されていますが、お煤払い・西本願寺内の清掃活動をしていただき、ご門主様（本願寺住職）との記念撮影、そして龍谷ミュージアム観覧、東急ホテルでの懇親会、朝早くなかなか行く事が出来ない朝六時からの本願寺でのお勤め（晨朝参拝）、国宝の書院・飛雲閣拝観など、さまざまな西本願寺でしか味わえない時間を皆様と一緒に過ごしたいと思えます。

締切は**十一月一日（金）**です。また申込み・詳細は西光寺までご連絡く

ださい。

一年に一度の本願寺清掃奉仕。特に今年のお煤払いは、いつもと違う内容の清掃奉仕です。是非とも皆さんと一緒に参加していただけたらと思います。この茨木東組念仏奉仕団を通して、宗祖親鸞聖人を身近に感じて頂けたらと思っております。たくさんのご参加、お待ちしております。

## ◆先月の報告◆

①九月十四日（木）みのり講と穂積講の方々と大谷本願墓参に行つて参りました。お天気も良く、恒例の西光寺の行事ですが、皆様とともに先祖様への感謝と親鸞聖人のみ教えに出会えたことに、感謝のおつとめをさせていただきますました。



無量寿堂で皆さんと讃仏偈のお勤め



外墓地で皆さんと重誓偈のお勤め

②九月二十二日（金）西光寺本堂にて仏教婦人会報恩講を厳修致しました。皆さんで正信偈のおつとめをし、お焼香をいたしました。親鸞聖人の遺徳をしのび、共に仏法を聞いて語り合う集いであり、生きていくなかで受けてきた皆さんの「恩」に「報いる」ことに思いを馳せるひとときでありました。その思いを胸に十一月の西光寺報恩講をむかえたいと思えます。ありがとうございます。



皆さんで正信偈のお勤め。



皆さんと一緒に茶話会をしました。

◆十・十一・十二月の行事◆

・十一月二十三日(木・祝)

報恩講法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂

◎御法話 本願寺派布教使 宮部 誓雅 師

・十二月十九日(火)～二十日(水)

茨木東組念仏奉仕団

京都西本願寺

③九月三十日(土) 西光寺本堂にて秋季永代経法要を厳修致しました。阿弥陀経と正信偈をおつとめいたしました。いつもと変わらぬ風景に感謝しながらのおつとめであります。

御法話は北畠先生。御家族御兄弟の死を通して、阿弥陀さまの尊い教えに救われていた自分自身の経験をお話しされ、共に感じることであります。めまぐるしく何もかも新しく移り変わってゆく時代の中で、外見だけを新しくするのはなく、中身の重要さと、決して崩れることのない大切な教えを守っていかなくてはいけないお話しに、気付かされることであります。本当にいいご縁をいただきました。ありがとうございました。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>